

# 秋道沢左俣

一九八四年七月二十九日

出合から最初の滝がのぞめた。この滝はなんなくパスできたが、先が期待できそうで、意気あがる。七時三〇分、身仕度をととのえて出発。

ナメや小滝を越えて進むと、四段ヒヨングリの滝。中央を登る。こちらあたりからいよいよV字峡となってくる。そして三〜六段の滝の連続。いずれもバランスやフリクションで越える滝である。帰りにここを下降することを考えると、少々心配になってきた。

八時、二俣。左俣に入る。二段四段とそれに続く小滝を越えて進むと、まもなく第二の連瀑帯。いずれも順

層の滝で、直登できる。

次の二俣を右に入り、小滝を越えて進むと、そろそろヤブがうるさく

なってきた。やがて源頭。急なルンゼを登って尾根に出る。  
尾根にはかすかな踏跡が残っていた。現在地を確認して、日蔭沢に下る。  
(記)

「タイム」 秋道沢出合(七:三〇) ↓

二俣(八:〇〇) ↓ 遡行終了(九:二五)

